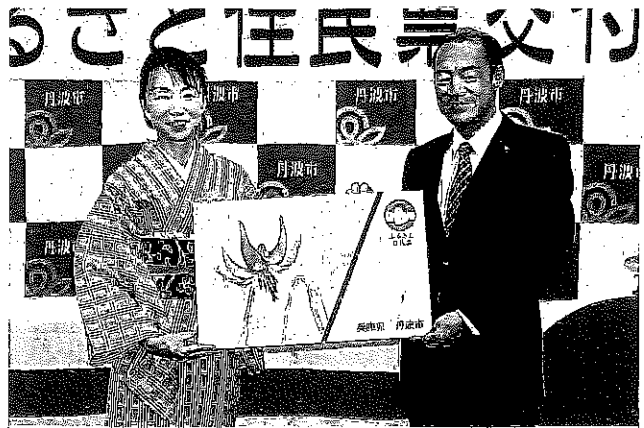


# ふるさと住民票 玉岡かおるさん第1号



玉岡かおるさん(左)に拡大した「ふるさと住民票」を手渡す谷口進一市長＝丹波市役所

丹波市にゆかりのある市外在住者を認定する「ふるさと住民登録制度」で、同市は21日、作家の玉岡かおるさん(三木市出身、加古川市在住)に、第1号の「ふるさと住民票」を交付した。

丹波市役所で拡大した住民票を手渡され、「丹波市との絆がますます深まります」と喜んだ。登録制度は同市が本年度

## 「絆、ますます深まる」

スタート。出身者や在学・在勤者、同市に興味のある人らを対象にふるさと住民票を交付し、広報紙やクーポン券などを送る。21日現在、北海道から福岡県まで、4～97歳の273人が登録している。

玉岡さんは昨年3月、同市を巡って名所や名産品について小説やエッセーにまとめたパンフレット「丹波逍遙」を手掛けた。交付式では「丹波にはふるさとの原型がある」とし、丹波布やカタクリの花など魅力を語った。現在は同市が舞台の創作能を執筆中だ。

「播磨に生まれ育ったけど、丹波は山を越えて一本道で来られる場所」と玉岡さん。谷口進一市長は「本日の住民票を取っていた

だいてもいいですよ」と誘った。同制度への登録は市総合政策課 ☎0795・82・0916 ☎

(金 慶順)

## ふるさと住民票 玉岡さんに

### 丹波市 登録第1号に選出

丹波市は、市外在住の人にもまろくにりに参加してもらおうと今年度創設した「ふるさと住民登録制度」の登録第1号に作家の玉岡かおるさん(加古川市在住)を選び、21日、谷口進一市長が玉岡さんに「ふるさと住民票」を交付した。

この制度は、市出身者や、ゆかりの人、仕事や旅行で訪れる人らに広く登録してもらい、市の広報紙を送ったり、市の事業などに意見を求めたりするもので、市内の施設の入館料を免除するなどの特典がある。

今年度は、100人を目標に5月から受け付けを始めたところ、すでに273人が登録したという。玉岡さんは三木市出身。

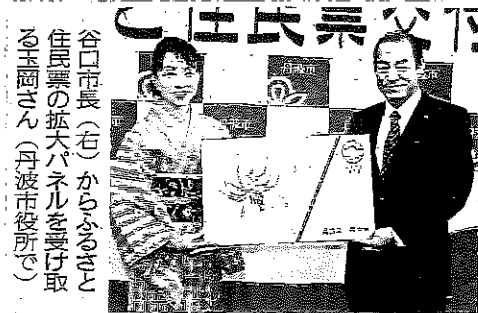
「夢食い魚のブル1・グッドバイ」で神戸文学賞、「お家さん」で織田作之助賞を受賞。昨年3月、丹波市の依頼で市内各地を訪ね歩き、歴史や自然、食、工芸品の魅力をまとめた冊子「丹波逍遙」を発行した。

この日、市役所を訪れた玉岡さんは、伝統工芸品の

大切なハンコは...  
**三和印房**  
電話・西二階町 288-1218

丹波布の着物姿で谷口市長から住民票の拡大パネルを受け取り、「ふるさとの原風景とともに、勤勉で素朴な人たちが丹波の魅力。冊子の執筆過程で得た知識や人脈を今後の作品に生かしたい」と話した。

9.22 神戸新聞



谷口市長(右)からふるさと住民票の拡大パネルを受け取る玉岡さん(丹波市役所で)